

キャラクター名
榛 芹那 (はしばみ せりな)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル オルクス		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	命令	衝動	妄想	初期侵食率	45	%
出自	権力者の血統	経験	力の暴走	邂逅	借り	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	1	0			3	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	3	0	0			3	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	3
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
妖刀『無銘：影打ち』	白兵	3r+10	4	10		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
蛇王の外套		7			Dロイス、黒いパーカー

所持品	
ウェポンケース	
情報収集チーム	

合計装甲： 7 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者：蛇王の外套	P	N		
逆撫 真司	P 尊敬	N 嫌気		
両親	P 好奇心	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
バックスタブ	5		常時	至近	自身	自動	リミット	
効果:	縮地を使用したメインプロセスを行う白兵攻撃力+[Lv*5]、侵蝕率基本値+4							
コンセントレイト：エグザイル	3	2	メジャー					
効果:	C値-[Lv] (下限値7)							
オールレンジ	4	2	メジャー	武器		対決		
効果:	判定ダイス+[Lv]個							
原初の紫：縮地	5	2+1	オート	至近	自身	自動	Dロイス	
効果:	移動直前に使用、シーン内の任意の場所に移動可、離脱可、シナリオ[Lv]回、侵蝕率基本値+4							
異形の守り	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	重圧時使用可、BS付と直後に宣言、暴走以外のBSを1つ回復する							
ヒュドラの怒り	4	4	セットアップ	至近	自身	自動	100↑	
効果:	R間、メジャー判定ダイス+3個、攻撃力+[Lv*3]、効果中BS暴走を受け、タイタス昇華以外での回復不可							
超人的代謝	★							
効果:								
地獄耳	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

経歴：
地方議会議員を務める父を持つ少女
地元では名家と呼ばれる家に生まれた為、本来は令嬢として扱われるはずだったが、弟妹が多いことと手がかからないこと、後継ぎの長男は既に生まれていたなどの事情から、幼い頃から放任気味に育った少女
その為か、感情表現に乏しいところがある
覚醒のきっかけは、とある誘拐事件だった
家に犯行声明と要求を綴られた手紙が届き、そのまま数日が経過
もう要求を呑むしかないか、そう思われた時、彼女はふらりと帰ってきたのだ。オーヴァードとなつて冷たい瞳と見覚えのない黒いパーカーを纏って帰ってきた彼女は、誘拐されている最中のことについて何も喋らなかつたが、大人たちはそれも仕方ない、と兎に角彼女が無事に帰ってきたことに安堵した
・・・言えるはずもないだろう、無事に帰ってきたと喜んでる大人たちに対して、自分はもうまっとうな人間ではなくなつてしまった、などと高校に通う年になり、遠方の学校を希望した彼女は一人暮らしを始めることになり、Y市を訪れることになる (大体1年前くらい?)
なお、彼女が遠方の学校を希望したのは、UGNのY市支部への人員補充のための辞令が下りていたのであったりする

性格：
元々感情表現に乏しいところはあったが、覚醒のきっかけとなった遺産、蛇王の外套により良心が欠けつつあり、愛想の無さに磨きがかかっている
敵味方問わず容赦が無いが、味方に対しては主に突っ込み容赦がないだけであり、見捨てたりすることは滅多にない
逆に敵とみなした者には例え女子供であっても、一切の容赦を見せず冷徹に振舞う

能力：
領域を操り、常に相手の死角から刃を刺しこむことで肉体能力の不足を補って余りある攻撃力を獲得している
その分、耐久力に乏しいが、回復力に恵まれている為、無理無茶の類を負担と感ぜない